

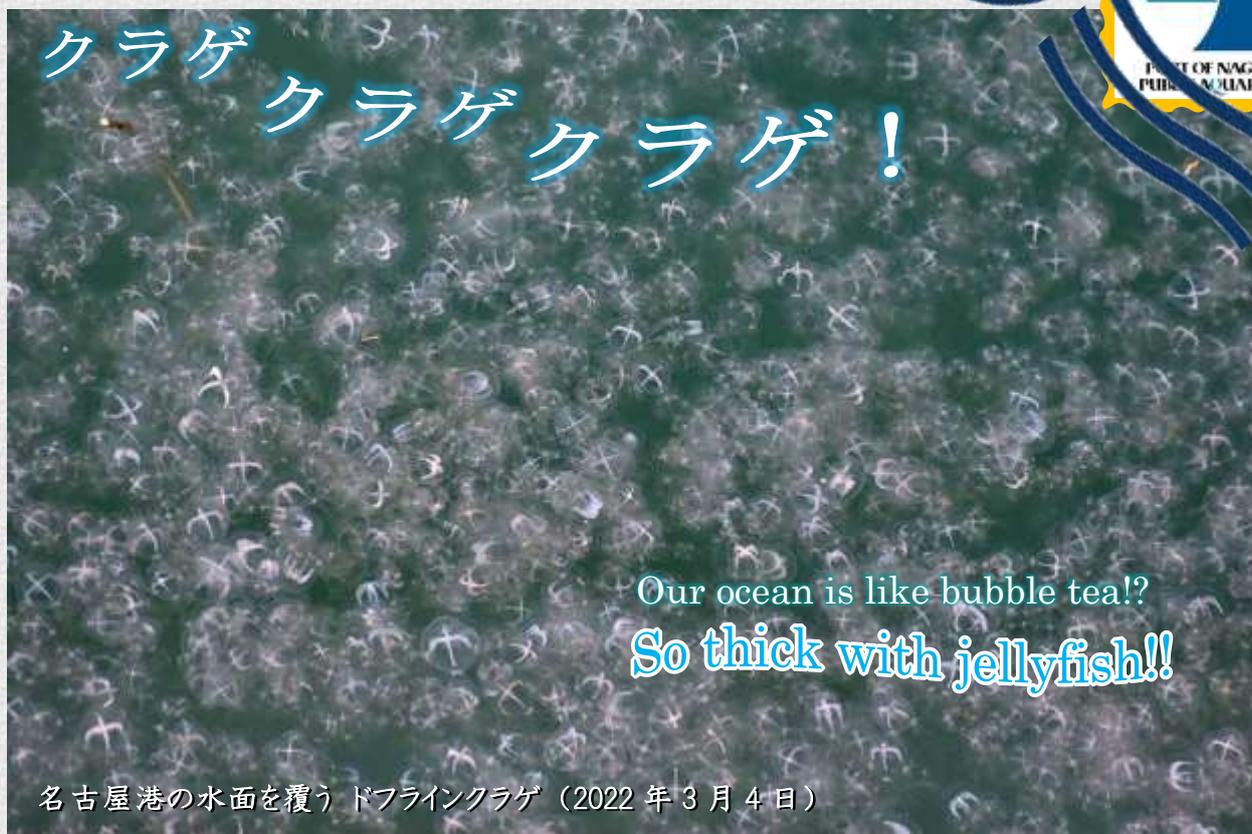
新着！ 海の生き物レター

水族館  
04.3.25  
Vol.14-No.2



名古屋港に

クラゲ  
クラゲクラゲ！



Our ocean is like bubble tea!  
So thick with jellyfish!!

名古屋港の水面を覆う ドフラインクラゲ (2022 年 3 月 4 日)

2022 年 3 月、名古屋港水族館の目の前の海はクラゲでいっぱいになりました。傘の直径 2~3 cm、体内の生殖腺が白い十字に透けて見える「ドフラインクラゲ」です。ここまで多くの数が見られるのは、とても珍しいことです。毎年冬から春にかけてアカクラゲ、カミクラゲ、カブトクラゲなど、様々な種類のクラゲが名古屋港にやってきます。飼育係はクラゲを採集して、種類を調べて水槽で展示します。同じ港でも、その年や季節によって見られる生き物は様々なので、その違いを楽しんでいます。



ひしゃくを使って、クラゲをつかまえる飼育係。  
これではドフラインクラゲばかり、とれてしまいますね。

3月1日



水中カメラで見ると、アカクラゲを発見しました。  
傘の直径約 20cm。毒性が強く注意が必要なクラゲです。